

- 基本理念 -

もっと社会に役立つ

もっとお客様に喜んでいただける

もっと地球に優しい企業グループ

そして「ゆとりとやりがい」



お客様、社会の価値向上へ

当社は、中期目標として「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指しております。

無線通信の高速化やスマートフォン、タブレットに代表されるモバイル端末の急速な普及、クラウドコンピューティングを始めとする新たなシステムサービスの発展など、ICT（情報通信技術）の進歩は加速しており、我々の生活を大きく変えています。企業活動においてはその技術・サービスの利用の成否が、企業競争力に大きな影響を及ぼすと言っても過言ではありません。

当社は、長年に亘る組込系・業務系ソフトウェア開発で培った、ICTに関する多くのノウハウ・技術・資産を有しております。それらを活用してお客様、ひいては社会の発展に繋げることが、重要な使命であると考えております。

様々な企業活動を通して社会の発展へ

当社は、「ものづくり」の楽しさを知ってもらうことを目的に、国内最大規模のロボット競技大会「全日本ロボット相撲大会」を1990年より主催しております。この大会に参加された多くの方々が、多方面で活躍されており、「ものづくり」の裾野拡大に繋がっております。

近年、当社が考案したロボット相撲は、海外において「相撲ロボットの制作はロボットテクノロジーの習得に適している」と高く評価され、世界各国でロボット相撲大会が開催されております。今後もロボット相撲を世界中に普及させると同時に、さらに多くの皆様に「ものづくり」の楽しさを知って頂き、またロボットテクノロジーを学びきっかけとして本大会が末永く続けられるよう、尽力して参ります。

また当社グループでは、特例子会社である富士ソフト企画において、障がい者雇用を積極的に進めており、各方面より評価頂いております。今後更に社会の要請に応えられるよう取り組んでいきたいと考えております。

この他、コミュニケーションロボット「PALRO（パルロ）」による介護福祉分野への取り組みや、子会社である富士ソフト・ティッシュエンジニアリングによる先進的な再生医療の取り組みなど、様々な企業活動を通して、社会の発展に貢献して参ります。

今後とも、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

被災地支援の取り組み

東日本大震災より4年以上経過致しましたが、被災地はまだまだ復興途上であり、苦勞をされている皆様に、改めてお見舞い申し上げます。

当社グループでは、これまで義援金の寄付やICTを活用した復興支援、社員のボランティア活動の支援などに取り組んでまいりました。さらに現地に根ざした効果的な復興支援を実施するため、2012年11月からは、岩手県奥州市より特定非営利活動法人（NPO法人）の認可を受けた「IT工房ひのき」を通じて、継続的な被災地支援を行っております。また、岩手県下伊閉郡田野畑村からの要請によりネットワークインフラの整備のために現地へ社員を派遣しております。

「IT工房ひのき」では、少子高齢化が進む過疎化地域での支援、各地で発生した様々な自然災害で被災された地域・被災者の方々へのボランティア活動や、社会貢献イベントへの参加など、幅広い活動を行っており、今後も継続して取り組んで参ります。

代表取締役社長執行役員

坂下 智保